

◆ 発行日 2011年1月 ◆ 発行 特定非営利活動法人フリースペースたまりば  
〒213-0022 川崎市高津区千年435-10  
TEL 044-833-7562  
FAX 044-833-7534  
<http://www.tamariba.org>  
E-mail : [freespace@tamariba.org](mailto:freespace@tamariba.org)

## 今年も、「こどもゆめ横丁」出現！

11月7日(日)に「こどもゆめ横丁」が開催されました。「こどもゆめ横丁」では木材を使った店舗づくりから商品づくりまでを自分たちで行ない、本物の現金を使って商売をします。5回目の今年は43店舗、144名の子どもが参加、当日来場者は約1600人。



えんのメンバーが出店した5店舗を紹介します。まずは初出店のかな・かずみのお店、「ミラクルホットケーキ」。店舗建設でのこぎり、とんかちに初挑戦。最初に待っていたのは太

い柱を切る作業。すぐには切れず、奮闘して切れた時には喜びでいっぱい。どの作業も黙々と集中して行ない、出来あがったお店はふたりの力作そのもの!! 当日、ホットケーキはお気に入りのジャムを使い、大きさは「おかずホットケーキ」「よくばりホットケーキ」と選ぶことができました。

次に、けいた・あさとのお店、「クリスタル」。こども初出店。とても長い柱を立てていたの、屋根をつくるのに一苦労。脚立に昇ってやっと届かな。必死の思いで、くぎ打ちをするふたりのまなざしは、青空とともにまぶしく映っていました。商品はしおりとアクセサリ。一枚一枚違ったイラストが書かれたしおりは、限定30個 当日、希望者には名前入れサービスも行なっていました。

去年に引き続き参加のこはる・しんのすけ・まなとのお店、「なぞのワッフルや」。店舗建設の途中で柱の1本が斜めに傾き、隣の店舗に支えられてお店が建っているという状態に!! みんなで柱を抑えながら、別に穴を掘り、なんとか立て直しに成功。くぎ打ちにはベテランで、スイスイと進んでいました。カレー味のワッフルも大好評でした。

毎年参加しているこ・りなのおでんやさん「RURI」。店内はおでんを作るコーナーと売るコーナーとに仕切られていたり、手作りのれんがかかっていたりとアイデアたっぷり。のれんには店名とイラストがきれいに刺しゅうしてありました。お店の外観はピンク×白で、ふたりの手形とパテをつかった霧模様が散りばめられていたりとい工夫。おでんはあっさりとした味付けでリピーターさんが多かったです。

最後に、こちらもお馴染みのそうま、大吉のお店、「丸いホットケーキ」。店舗建設はギリギリだったものの、慣れた手つきで、とんとん拍子であっという間に完成!! 当日はお客さんが絶えることなく、大忙しでしたが、一つひとつ焼き具合を確認しながら、ていねいに作りあげていました。出来立てほやほやの丸いホットケーキは、作り手さんのあたたかさも合わせて、口の中でほくほくと溶けていきました。

その他、登龍門(飛び入り)ステージでは、バンド名を「もみじ」と発表した、中学生のフォルクローバンドが演奏。また横丁内のパイプ組みや公共施設の建設、そして後片付けもえんのメンバーが大活躍。今年もみんなの力が合わさって大盛況のもと幕を閉じていきました。(まちこ)



## 夢パークの指定管理者に決定！

12月の第5回川崎市議会の採決で、「たまりば」は2011年度からの5年間を川崎市生涯学習財団と共に、フリースペースえんを含む夢パーク全体の管理・運営を行なうことが決まりました。

NPO法人  
フリースペース  
たまりば  
って...?

1991年川崎市高津区で、学校や家庭、地域に居場所を見出せない子ども・若者たちの居場所として活動をスタート。2003年にNPO法人の認証を受け、同年7月にオープンした「川崎市子ども夢パーク」内の不登校児童・生徒のための居場所「フリースペースえん」の運営を市より委託される。指定管理者制度の導入により、2006年4月から川崎市生涯学習財団と共同で夢パーク全体(フリースペースえんを含む)の管理・運営を行なっている。さまざまな活動を通じ、学校外の多様な学びと育ち、生き方を支援している。

# たまりバラエティ

## 秋はお祭りシーズン！

たまりばにとって、秋はお祭りの季節。「いらっしゃい、いらっしゃーい、たまりば名物焼き鳥だよ！秘伝のたれだよ！」「炭火焼の秋刀魚は一味違うよ～」「おいしい焼きそばが焼けたよ～」と売り物は違っても、たまりばの店は、いつも大にぎわい。

焼く人、売る人、後ろで黙々と炭を起こす役の人、看板を書く人、キャンディーレイを売り歩く人、使った食器を洗う人、いろいろな店での買い物を楽しむ人、テント立てや後片付けに力を発揮する人、早朝から暗くなるまで派、ちょこっとだけのぞきに来る派、フリマの商品を出品してくださった方、買ってくださったお客様...。おまつりは、いろいろな人



がいてこそおまつり。おとなも子どももできる力を出し合って、今年も、たくさんの団体や地域の方たちとふれあい、そして、活動資金を稼ぐことができました。(のぶこ)

## 色とりどりの布、秋の風に揺れる

11月15日「かわさき子どもの権利の日事業」として、毎年恒例の「野染め」イベントを開催しました。京都の染色家の齋藤さんを招いて、午前中は2本の布張り(長さ18m・幅1m)や色作り、染色などの作業をワークショップ形式で行いました。齋藤さんお得意のおやしギャグを織り交ぜた絶妙な言い回しに、参加者たちも作業をしながら笑顔にあふれ、染色の時には、みんな思い思いに布を染める作業を気持ちよさそうに行っていました。午後には、齋藤さんが持ってきてくださったエイズメモリアルキルト(エイズで亡くなった人を偲んで家族や友人が作ったキルト)をみせてもらい、亡くなった方と齋藤さんとの思い出やその家族の話、エイズとい



う病気についての話など、貴重な話をたくさん聞かせてもらいました。齋藤さんの優しさに包まれた、気持ちがホッくり温くなる一日でした。(ゆうき)

## いよいよ秒読み たまりばフェスティバル

来る3月5日開催の「たまりばフェスティバル」に向けて、えんのみんな、中でも「プロジェクトX」メンバーが準備に燃えています。



「プロジェクトX」とはフェスティバル実行委員会のこと。活動内容は、フェスティバル全体の企画、チケット・チラシ・プログラムなどの制作、出演者や会場との打合せなど多岐に渡ります。今年を中心メンバーは中高生年齢の5人。ベテランメンバーががっちり支える中、今年はフレッシュな新人が一人加わりました。定期的に行なわれているお菓子とお茶(やる気の元)つきミーティングは、なぜかいつも脱線おしゃべりで大笑い。そんな感じで半年ほど前からコツコツと重ねてきた活動もいよいよ大詰めを迎えています。メンバーは当日、会場入口でお客さまをお出迎えする予定です。ご来場心からお待ちしています(ハイホー)

## 笑顔も腹も一杯。80人でパーティー

2010年子どもたちの最終日は、毎年恒例「クリスマスパーティ」です。前日にはいつも大掃除をして、きれいになったところからクリスマス会の準備は始まります。中学生男子たちが美味しいミートローフを作ってくれました。

当日は早くから駆け付けたシェフ太郎がサンドウィッチを、そして毎年クリスマスにちなんだお菓子を作ってくれるアキちゃんはスペイン菓子「ポルポロン」を作ってくれました。ユキノとミツキを中心にの形のスポンジケーキを重ね、ツリーに見立てたケーキをみんなで作製。若者たちもたくさんの料理の手伝いや部屋の飾りつけなど行ない、みんなのワクワクした素敵な笑顔があちこちに溢れていました。準備の時間からクリスマス会は始まっているんだな～と私のテンションも上がります。

17時のスタートからは、楽しい歓声があちこちで響く中、演奏やビンゴで大盛り上がり。素敵な年末のひと時でした。(あや)



『やってみよう』がいっぱいある場所です  
**川崎市子ども夢パーク**

川崎市高津区下作延5-30-1  
TEL 044-811-2001 FAX 044-850-2059  
<http://www.yumepark.net>



「えん」で行なわれている講座を紹介します

## あっこのパクパクパッくん 連続講座

「おはよう！」たくさんの卵、バター、砂糖、小麦粉を抱えて、あっこさん、井上さん、溝口さんがえんにやってきました。今日は楽しみにしていたバームクーヘン作りの日。部屋の外では薪を割って火の準備、中では生地作り。生地ができたなら、さっそく外に出て直径10センチの竹に両手で生地を塗り、2人で息を合わせて竹をくるくる回しながら焼いていきます。

薪をくべたり、うちわであおいだり、火の加減がなかなか大変です。表面が乾いてきたら生地を塗り、焼く、を何度も繰り返して、長さ1mの巨大なバームクーヘンが焼きあがりました。今年度の「あっこのパクパクパッくん」では、ハンバーガー、シフォンケーキ、中華まん、かぼちゃのタルト、などを作りました。食べる頃になると部屋の中がいつも満杯になる、おいしい講座です。(たかこ)



堤彰子(つつみ あきこ)

高校時代から自家製の天然酵母パン、各国のお菓子づくりを続けている主婦。おいしいものをみんなで食べたいという思いから、小麦粉中心のおやつづくりの講座を始める。



## HAPPY えん ぶりだい

麻生区黒川でもち米の稲刈り。刈った稲は、夢パークの手すりでは「はげかけ」。耳を近づけると、稲穂が乾く時の「パチパチ」という音が。板に釘を打って脱穀機を作ったけど、悪戦苦闘。結局、稲穂を割り箸にはさんで脱穀し、すり鉢と野球ボールを使って杵とり。杵と玄米を分けて、一升瓶と棒で精米。みんなで何時間もかけてやっと二合できました。1月中にお餅にできるかな。(たかこ)

今年は南アフリカでワールドカップが開催され、時を同じく「えん」でもサッカーが大流行り。毎日、昼食後に小学生年代から大人までが全天候広場に集まって、試合を行います。先に5点を取ったチームが勝ち。勝っても負けても、思いっきり身体を動かして、いい汗をかくのは気持ちがいいみたいです。(ゆうき)

葉付き大根をたくさんいただいたのでみんなの大好きな「大根葉ふりかけ」を大鍋いっぱい作りました。さっと湯がいてみじん切りした大根葉と生姜をごま油で炒め、かつおぶし、みりん、酒、砂糖、醤油、一味唐辛子で味付けしたらできあがり。それぞれの分量は全て適当。これがあると約二升のご飯もほとんど空になります。良かったら試してみてください。(みよし)

## 西野のつぶやき



プレーパークの滑車ロープの横で秘密基地をつくっている子どもたち。小山のてっぺんには、いつの間にか深い穴が掘られている。2メートルはあるだろうか。穴の間口が狭くて、とても大人が作業できないようなところをよくも掘り進んだと感心してしまう。どうやって土を運びだし、どうやって穴の外にはい出たのか。想像するとわくわくしてくる。そのとなりでは、浅く広く掘った穴に、一生懸命落ち葉を入れている子どもたち。一人ひとりの顔は、平静を装っているものの、時々こみ上げてくるおかしさを隠しきれない様子だ。どうやら落とし穴をつくっているらしい。

かまどの近くでは、一心に薪割をする男の子。その横で火起しに夢中になっている子どもたち。

ここで生活していると、子どもにとって遊ぶということは、ご飯を食べるくらい大切なことなんだということが、実感としてひしひしと伝わってくる。

こんなに自由に遊べる環境が「えん」と同じ敷地内にあるというのは、やっぱりスゴいことだなあとしみじみ思う。焚き火を囲んでボーっとすることもできる。鬼ごっこやドロケイで走り回れる広さがある。おとなの顔を気にすることなく、やってみたいと思うことに挑戦できる遊び場がある。

10月末、そんなプレーパークづくりに積極的に取り組んでいる仲間が集まる「第5回冒険遊び場づくり全国研究集会」が神奈川で開かれた。縁あって3年に一度のこの集会の実行委員長を任されることになった。日本全国から延べ500人を超える人たちが集まり、夜を徹して語り合った。老若男女を問わず、遊びについてこんなに熱く語る人たちに出会えたことは、とても大きな収穫だった。

プレーパークとフリースペースがある夢パーク。原稿を書いているたった今、その指定管理者に再度決定したという知らせが舞い込んできた。これで安心して新しい年を迎えられそうだ。なんともいっても皆さんからの熱い応援のおかげである。心から感謝を申し上げたい。(西野博之)



## オーガニックカフェ



TEL/FAX 044-813-5248

南武線久地駅下車徒歩2分  
川崎市多摩区宿河原6-26-24 フジビル1F

## インフォメーション

詳しくは事務局まで

### 夢パーク:初夢!新春イベント

1月16日(日)11:00~15:00(夢パークは18:00閉所)

1月17日(月):「えん」は新春イベントの代休です。

おもちつき、ベーゴマやはねつきなどの昔遊び、書初め、どんど焼きなどお正月行事をみんなで一緒に楽しみませんか。みんなでついた、おもちも食べられます。

### 「弱者いじめの連鎖を断つ」~シリーズいのち公開講座~

2月5日(土)14:00~16:30「えん」

講師:北村年子さん(フリージャーナリスト)

参加費:500円<要予約・20歳未満は無料>

### 「わたしという宝物」(入場無料)

2月11日(金・祝)14:00~17:00 川崎市産業振興会館

一部:講演会 ~名もないいのちのドラマ~

松崎運之助さん(元夜間中学校教師)

二部:コンサート ~小さな声を受け止めていますか~

こんのひとみさん(シンガーソングライター、エッセイスト)

### たまりばフェスティバル2010

~みんな飛んでけゴゴゴ!~

「えん」で行っている講座や自主企画など一年間を通してやってきた活動発表の場です。楽器演奏、創作劇、歌、ダンスなど盛りだくさん 子どもたちによる「プロジェクト X(フェスティバル実行委員会)」が中心となって企画・運営しています。

日時:3月5日(土) 14:00~17:00(開場:13:30)

会場:川崎市男女共同参画センターすくらむ21

チケット:大人券 1,200円(コーヒー券付き) 子ども券 100円

協力券 1,000円 当日券もあります。

### イベント出店

すくらむ21まつり 2月20日(日)

川崎市男女共同参画センターすくらむ21

連載 毎日新聞『きつと、だいじょうぶ。』

隔週日曜日に、西野博之がコラムを連載中。Webでも読めます。

### フリースペースって、どんなところ?

「不登校」「ひきこもり」の子ども・若者の居場所づくりについて、画像をまじえて

「夢パーク・フリースペースえん」の活動紹介と質疑応答など意見交換を行ないます。

第6回 1月22日(土)10:00~12:00

第7回 2月19日(土)10:00~12:00

(原則として、各回とも同じ内容です)

対象 フリースペース(居場所)の活動や、不登校・ひきこもりについて関心のある方

会場 川崎市子ども夢パーク内「多目的室」

資料代 500円 <要予約・先着20人まで>

### 思春期懇談会

アドバイザー:長谷川 俊雄さん

(白梅学園大学子ども学部教授)

第7回1月29日(土) 第8回2月19日(土) 第9回3月12日(土)

対象 思春期の子どもをもつ保護者

会場 高津区役所 保健ホール

参加費 500円 <要予約・先着20人まで>

子ども・青年にかかわる人に必要な

### 精神医学の基礎

講師:石川憲彦さん

(児童精神科・小児科医、林試の森クリニック院長)

シリーズ 「現代の精神医学を理解するために」(終了)

シリーズ 「安全・安心の病理」(全3回)<受付終了>

シリーズ 「活力と充足の病理」(全3回)

## ご支援いただきありがとうございます(2010.9.10~2010.12.14)

NPO法人フリースペースたまりばに、応援会員として会費を入金して下さった方、カンパをいただいた方のお名前です。(敬称略・順不同。希望されない方は掲載しておりません。なお、掲載もれなどの不備がございましたら、事務局までご連絡ください。)

勝瀬伊津子、田辺待子、細谷加代子、石山桂子、中川裕子、田老伸匡・香奈、石橋充行・大吉、長谷川和子、村上信雄、金子大也・麻子・光希、柳生幸子、毛井海渡・大智、門田啓子・詩菜、門田正胤、児島順子・満中人、手塚牧人、京藤裕子、中村公一、渥美和紀、矢崎美穂子、山田恵理子、相田里美、サポートステーションさいとう、カトリック鷺沼教会、今北正史、小柳恵子、後藤史子、岡田謙・恭子、武井哲郎、金の星社梶浦、三好洋子、山田利雄、平島春美、国際ソロプチミスト川崎-百合、徳永恭子、青木悦、斎藤洋、武蔵野ボランティアステーション、井畑立明、竹内昭、西島一・麻由子、小玉泰、長谷川信義・靖子、竹内太郎、大嶋紀成、有北いく子、白梅学園、廣井泉、小川さゆり、本田常隆、長敬弘、シュレスタ富美子、中村勇、江口晶子、岡本恵子、友兼清治・悦子、菊地真由美・圭太

お飾りは完売しました。作成グループのお母さんたちありがとう。売り上げは、たまりばの活動資金にさせていただきます。

## 応援会員募集中!!

フリースペースたまりばの活動のためにあなたのお力が必要です!

月払い会員、年払い会員、個人会員、団体会員など各コースあります

振込先 郵便振替口座 002002-57382 特定非営利活動法人 フリースペースたまりば

\*郵便局の自分の口座からなら、手数料が無料で振り込めます。

他金融機関からも入金できるようになりました。口座番号は(支店名を「セ」で検索してください)

〇二九(ゼロニキュウ)店 (029)当座 0057382

詳しくは事務局まで TEL 044-833-7562(光富、山下)